

# ベトナムの日本語教育

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク (I-GLOCAL Pham Thi Thuy Linh)

## はじめに

近年、ベトナムは日本を含めた多くの国からの投資先となっている。すでにベトナムへ進出している日系企業はベトナムで事業を拡大し、特に確保が難しい日本語人材に対して高い報酬を支払っている。ベトナム語のみが話せる IT 人材の給与相場は月 400 ドル前後であるが、日本語人材にはその 2 倍の給与を提示するケースがある。ベトナム人にとって、日系企業の職場はプロフェッショナルで高待遇というイメージがあるため、日系企業への就職や転職、昇給のために日本語を学習する者が増えている。本レポートではベトナムの日本語教育事情について紹介する。

## 1. ベトナムでの日本語教育の概要

2012 年度の国際交流基金の調査によると、ベトナムには、日本語教育を実施する学校と外国語センターが 180 ヶ所ある。ベトナムの日本語学習者数は毎年増加し続けており、2012 年時点で約 4 万 7 千人となり、世界 8 位となっている。日本語を学習する理由として多いのは、高い賃金の仕事に就きたい、日本の研修に参加して日本の技術を学びたい、日本文化・言語自体に関心がある、などである。日本語能力を測定する日本語能力試験はハノイ、ダナン、ホーチミンの 3 都市で年 2 回実施されている。2013 年の受験者数は約 2 万 6 千人に達し、東南アジアで最多となった。

## 2. 中学校・高校・大学における日本語教育

ベトナムの教育機関での日本語教育は、1961 年にハノイ貿易大学で開始された。その後、他の国立大学や私立大学でも日本語教育が次々と導入された。当初は日本語学科として始まったが、近年はその人気ぶりから日本語学部へ昇格させる動きも見られる。2009 年までに、全国の大学 39 校に日本語学部が設置され、その内、いくつかの大学は社会人を対象とした日本語勉強会や訓練も開催している。

ベトナムの中学校や高校でも第一外国語としての日本語教育が実施されている。その背景には、2003 年に外国語能力の向上を目指してハノイで開始された「中等教育における日

本語教育試行プロジェクト」がある。2005年には中学校、高校における正式な外国語科目として日本語が登録された。この年に日本語を学び始めた第1期の学生は、7年間（中学4年+高校3年）日本語を学習し、2012年9月に大学に入学した。2013年までに、ベトナムの中学校・高校32校が日本語教育を開始しているが、遅れていた南部のバリア・ブンタウ省、ビンズオン省の学校も、2014-2015年度から当プロジェクトへの参加を表明した。日本語教育を早期に導入することは、ベトナムの子どもたちの日本に対する理解を深めることに役立ち、今後、日越両国の友好のかけ橋になると考えられている。

### 3.外国語センターにおける日本語教育

2012年度の国際交流基金の調査によると、ベトナムにおける日本語の学習場所の半数以上は中学校・高校・大学以外の、私立の外国語センターである。私立の外国語センターは、より多くの人々が利用することができ、日本人教師と接する機会が多く、社会人でも参加しやすい時間割になっているため、重要な役割を果たしている。私立の外国語センターは主にハノイ、ホーチミンなどの大都市に多く存在するが、現在では、ハイフォン、フエ、ダナンなどの都市でも増加している。その中でも、Dong Du 日本語学校、Sakura 日本語学校、ベトナム日本人材協力センターは、豊富な教育経験と日本への研修実績で知られていて、人気がある。

### 4.小学校における日本語教育

在ベトナム日本国大使館とベトナムの教育訓練省は、これまでベトナムの初等・中等教育における日本語教育の導入に関する協議を行ってきた。「2008-2020 年 期 国 家 教 育 シ ス テ ム に お け る 外 国 語 教 育 ・ 学 習 プ ロ ジ ェ ク ト」が立ち上げられ、在ホーチミン日本総領事館、及び国際交流基金ベトナム日本文化センターが教育訓練省と協力し、小学校3年生から第一外国語としての日本語教育の導入を計画している。具体的には、2016-2017年度より、ハノイ市内の小学校4校、ホーチミン市の小学校1校で試験的に日本語学習クラスを導入することとしている。この結果によっては、順次ベトナム各地の小学校で日本語クラスが導入されることも予想される。初等教育への日本語教育の導入は世界でもまだ珍しく、東南アジアでは初の試みとなる。この取組により、更なる日本語学習者の増加が期待されている。

## 終わりに

日本企業によるベトナムへの積極的な投資活動に伴い、日本語人材の需要も増加している。ベトナム政府が小学校と中学校に日本語教育を導入するのは、ベトナムの子供たちに日本語を通じて先進国の考え方や技術などを学んでもらうためであるが、将来的には、ベトナムの日系企業等で活躍することも期待されている。日越関係は日本語人材を通して今後、益々深まっていくことが予想される。

## 参考文献

- 日本国際交流基金：

<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2014/vietnam.html>

- 在ベトナム日本国大使館：

[http://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/20160914\\_Vn\\_Culture\\_DaytiengNhat\\_tieuhoc.html](http://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/20160914_Vn_Culture_DaytiengNhat_tieuhoc.html)